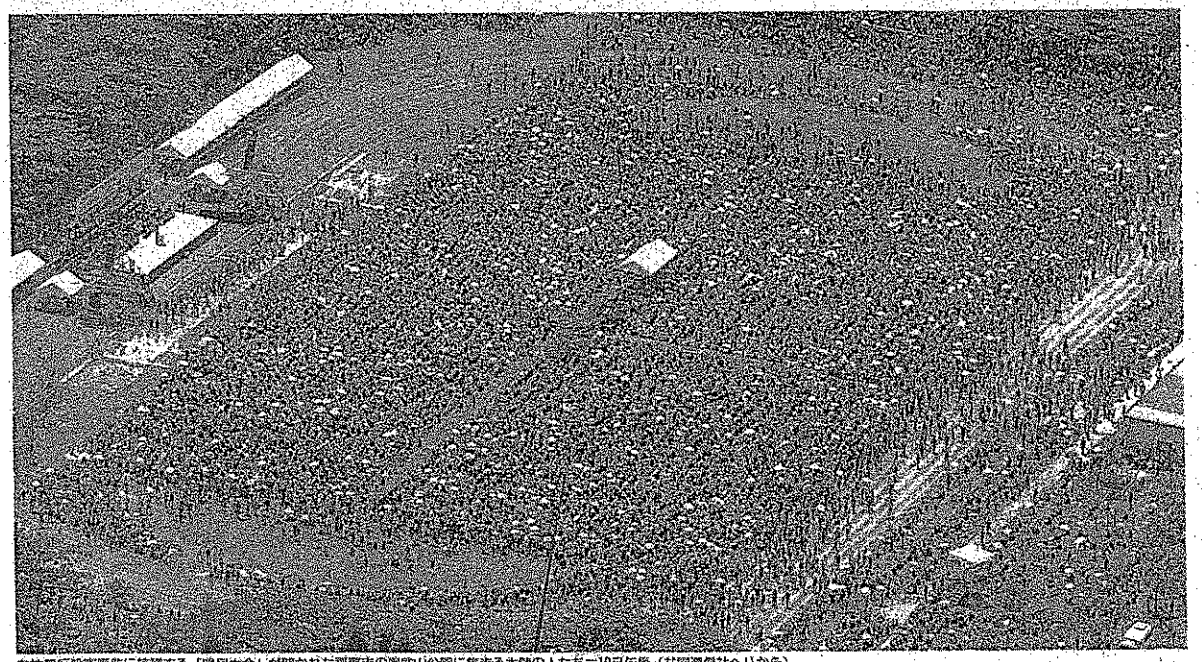
6/20 赤旗

沖縄 怒り・追悼 6万5000人

女性暴行殺人事件

米海兵隊撤退を要求 県民大会

〝もう犠牲者出さない〟



女性暴行殺害事件に抗議する「県民大会」が開かれた那覇市の奥武山公園に集まる大勢の人たち＝19日午後（共同通信社ヘリから）

米軍関による女性暴行殺人事件に抗議する「元海兵隊員による残虐な暴行を糾弾！被害者を追悼し沖縄の海兵隊の撤退を求める県民大会」（主催・「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」）が19日、那覇市の奥武山（おうのやま）陸上競技場で開かれました。

↓関連⑩⑪面

全基地撤去と新基地反対で県民がひとつになれば

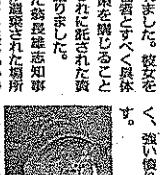
被害者の父親メッセージ

会場周辺にも人があふれ、6万5000人が参加しました。「怒りは限界を超えた！」「海兵隊は撤退を！」と叫ばれたメッセージボードを掲げました。

女性の父親から「被害者の無念は計りしれない悲しみ、苦しみ、怒りとなっていくのです。次の被害者を出さないためにも、全基地撤去、辺野古新基地建設に反対、県民がひとつになれば可能だと思っています」とのメッセージが寄せられました。

オール沖縄会議共同代表の県議守将氏は「悲しい、悔しみましたが、この事件が最後の犠牲者にしてくださいとおっしゃったことに勇気づけられました。被女を最後の犠牲者とすべく具体的な有効策を講じることが、われわれに託された責務だ」と語りました。

出席した翁長雄志知事は、女性が暴行された場所に花を手向けた際、「心の中で、安倍政治にしっかりと対じしていきます」と決意を表明しました。



あいさつする翁長雄志知事

被害者のご冥福を祈りするとともに、ご遺族に対し心から哀悼の意を表します。このような非人間的で、女性の人権を蹂躙（じゅうりん）する卑劣な犯罪が出てまいりました。21年前のあの痛ましい事件を受けての県民大会で、「二度とこのような事件を繰り返さない」と誓いながら、政治の仕組みを変えることができなかったことは、政治家として、知事として、痛恨の極みであり、大変申しあげることができなくてごめんなさい」と言いました。

先日、被害者が遺棄された場所に花を手向け、手を合わせてまいりました。心の底から「あなたを守ってあげることができなくて、ごめんなさい」という言葉が出てまいりました。21年前、政府は米軍基地の返還・縮小、辺野古新基地建設阻止に取り組むと表明しました。

被害女性と同世代の若者たちも思いを述べました。

「オール沖縄会議」共同代表の玉城愛さんは、「彼女が奪われた生きる時間の分、責任を持って生きていくことが、私たちの決意の表明だ」と述べました。

壁突き崩す決意の日

翁長知事のあいさつ（要旨）

先月、安倍首相に事件について抗議した際、知事として、県民の生命と財産、尊厳と人権、将来の子孫の安心と安全を守るため、日米地位協定の見直しを強く要求しました。21年前、政府は米軍基地返還による対策として、県民が寄せた期待に立って地位協定の抜本的な見直し、海兵隊の撤退・縮小、新辺野古基地建設阻止に取り組んでいく不退転の決意をここに表明し、あらためて申しあげたいと思います。

沖縄県民大会に呼応した国会大行動に参加する人たち＝19日、国会正門前

国会前 連帯の1万人

沖縄県民大会に呼応して19日、いのちと平和のための国会大行動が行われました。1万人（主催者発表）の参加者が、「女性の殺害、徹底糾弾！」「海兵隊は今すぐ出て行け！」とコール。県民大会での翁長雄志知事のあいさつが同時中継されると大きな歓声と拍手がわき起こりました。

沖縄県民大会に連帯する集会などが32都道府県40カ所以上で行われたとの報告がありました。

「止めよう！　辺野古埋め立て」国会議員懇談会」の外間三枝子さんは、「こんなに惨めで屈辱を政権があろうか、日米地位協定の改定も言い出せない。日本を変えるためにできることをやっていこう」と開会あいさつしました。

「沖縄に思いを寄せつつながらあう気持ちを示している全国のみなさんに感謝します」と話したのは、沖縄から駆けつけた、オール沖縄会議の大城信さんです。「未来のため、子どもたちのため、基地のない平和な沖縄をつくるため、全国のみなさんと連帯を強めながら、安倍政治にしっかり対じしていきます」と決意を表明しました。

続かれが行動実行委員会の小田川義和さんは「市民と野党の共闘の力で、自公を少数に追い込み、野党の勝利のために力を尽せ合っていこう」と呼びかけました。

作家の澤地久枝さんらがスピーチし、民進党の初鹿明博衆院議員、日本共産党の田村智子副委員長・参院議員、社民党の吉田忠智党首があいさつしました。

「沖縄の事件は許せない」と駆け付けたという神奈川県南野市の大原絹江さん（70）は「安倍政権の強引に決めていく政治を現家で黙っていられなかった。参院選は力を合わせて命を大切にする社会をつくっていきたい」。東京都世田谷区の別部あかねさん（60）は「米軍基地の問題は日本全体の問題だと痛感しました。私たち一人ひとりに何ができるかが問われると思います。地域や職場などで伝えていく努力をしたい」と語りました。

集会・デモ 参加者の怒り

大会で採択された決議は次の通りです。

県民の人権といのちを守るためには、米軍基地の大幅な整理・縮小、なかでも海兵隊の撤退は急務である。

私たちは、今県民大会において、以下決議し、日米両政府に対し、強く要求する。

記

1　日米両政府は、遺族及び県民に対して改めて謝罪し完全な補償を行うこと。

2　在沖米海兵隊の撤退及び米軍基地の大幅な整理・縮小、県内移設によらない普天間飛行場の閉鎖・撤去を行うこと。

3　日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上

大会は、日米両政府に、海兵隊の撤退、日米地位協定の抜本的な改定を突き付けました。

最後に「月桃」の歌が奏され、参加者は口ずさみながら、女性と遺族に思いを寄せました。

にのぼる異常事態である。

県民の怒りと悲しみは限界を超えた。

元海兵隊員の凶悪な犯罪により、20歳の未来ある女性のいのちが奪われた。これは米軍基地あるが故の事件であり、断じて許されるものではない。

繰り返される米軍人・軍属による事件や事故に対し、県民の怒りと悲しみは限界を超えた。

私たちは遺族とともに、被害者を追悼し、2度と繰り返させないために、この日米両政府は、事件・事故が起きるたびに、一貫して「再発防止」を徹底すると約束してきたが実行されたためしはない。このような犯罪などを防止するには、もはや「基地をなくすべきだ」との県民の怒りの声はおさまらない。

戦後71年にわたって米軍が存在している結果、復帰後だけでも、米軍の犯罪事件が5911件発生し、そのうち凶悪事件は575件にのぼる異常事態である。

県民の怒りと悲しみは限界を超えた。

元海兵隊員の凶悪な犯罪により、20歳の未来ある女性のいのちが奪われた。これは米軍基地あるが故の事件であり、断じて許されるものではない。

繰り返される米軍人・軍属による事件や事故に対し、県民の怒りと悲しみは限界を超えた。

私たちは遺族とともに、被害者を追悼し、2度と繰り返させないために、この日米両政府は、事件・事故が起きるたびに、一貫して「再発防止」を徹底すると約束してきたが実行されたためしはない。このような犯罪などを防止するには、もはや「基地をなくすべきだ」との県民の怒りの声はおさまらない。

戦後71年にわたって米軍が存在している結果、復帰後だけでも、米軍の犯罪事件が5911件発生し、そのうち凶悪事件は575件

テレビ・ラジオ番組表は8面

大会は、日米両政府に、海兵隊の撤退、日米地位協定の抜本的な改定を突き付けました。

最後に「月桃」の歌が奏され、参加者は口ずさみながら、女性と遺族に思いを寄せました。

駅なぐ思っています。

先月、安倍首相に事件について抗議した際、知事として、県民の生命と財産、尊厳と人権、将来の子孫の安心と安全を守るため、日米地位協定の見直しを強く要求しました。21年前、政府は米軍基地返還による対策として、県民が寄せた期待に立って地位協定の抜本的な見直し、海兵隊の撤退・縮小、新辺野古基地建設阻止に取り組んでいく不退転の決意をここに表明し、あらためて申しあげたいと思います。

大会は、日米両政府に、海兵隊の撤退、日米地位協定の抜本的な改定を突き付けました。

最後に「月桃」の歌が奏され、参加者は口ずさみながら、女性と遺族に思いを寄せました。

政府は県民の怒りが限界に達しつつあること、これ以上の基地負担に県民の犠牲は許されないことを理解すべきです。私は知事として、このような事件が二度と起きないよう、県民の先頭に立って地位協定の抜本的な見直し、海兵隊の撤退・縮小、なかでも海兵隊の撤退は急務であるとの決意を改めて申しあげました。

大会は、日米両政府に、海兵隊の撤退、日米地位協定の抜本的な改定を突き付けました。

最後に「月桃」の歌が奏され、参加者は口ずさみながら、女性と遺族に思いを寄せました。

政府は県民の怒りが限界に達しつつあること、これ以上の基地負担に県民の犠牲は許されないことを理解すべきです。私は知事として、このような事件が二度と起きないよう、県民の先頭に立って地位協定の抜本的な見直し、海兵隊の撤退・縮小、新辺野古基地建設阻止に取り組んでいく不退転の決意をここに表明し、あらためて申しあげたいと思います。

件直後の日米首脳会談であったにもかかわらず、安倍首相は地位協定の見直しに言及せず、辺野古移設が「唯一の解決策である」といっています。

この間題を解決しようとする先に、いかに大きな壁が立ちはだかっているか、私たちは思いをいたさなければなりません。心を一つにして、強い意志と誇りで、この壁を突き崩していかなければなりません。きょうの日を改めて決意の日にし、全力で頑張っていこうではありませんか。

政府は県民の怒りが限界に達しつつあること、これ以上の基地負担に県民の犠牲は許されないことを理解すべきです。私は知事として、このような事件が二度と起きないよう、県民の先頭に立って地位協定の抜本的な見直し、海兵隊の撤退・縮小、なかでも海兵隊の撤退は急務であるとの決意をここに表明し、あらためて申しあげたいと思います。